

## 6 自動車運送事業

## (1) 業務実績

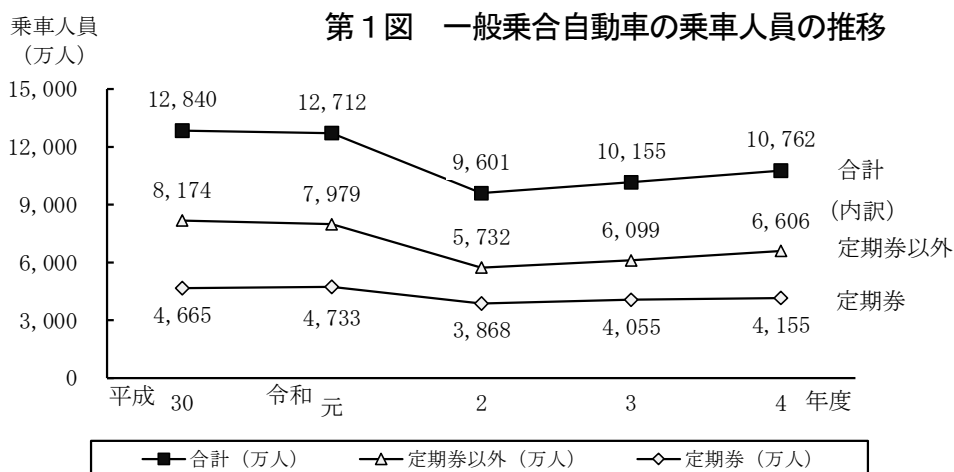
自動車運送事業における令和4年度の業務実績を令和3年度と比較してみると第1表のとおりである。

第1表 業務実績

区 分		令和4年度	令和3年度	比較増△減	前年度対比	
運 転 キ ロ 数	年 間	km 35,867,869.8	km 36,106,320.4	km △ 238,450.6	% 99.3	
	1 日 平 均	98,268.1	98,921.4	△ 653.3	99.3	
	年 間	人 107,621,269	人 101,552,072	人 6,069,197	% 106.0	
乗 車 人 員	一 般 乗 合	定期券 41,556,255	40,554,319	1,001,936	102.5	
	定期券以外	66,065,014	60,997,753	5,067,261	108.3	
	1 日 平 均	294,853	278,225	16,628	106.0	
人 員	貸 切	年 間	239,310	317,600	△ 78,290	75.3
	1 日 平 均	656	870	△ 214	75.3	
	合 計	年 間	107,860,579	101,869,672	5,990,907	105.9
1 日 平 均	295,508	279,095	16,413	105.9		

運転キロ数は3,586万キロメートルで、前年度に比し0.7%減少している。これは、バス路線の再編成等によるものである。

乗車人員は1億786万人で、前年度に比し5.9%増加している。うち一般乗合自動車の乗車人員の推移は、第1図のとおりである。



一般乗合自動車の乗車人員は前年度より増加しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響が続いたことから、影響前の令和元年度以前と比較すると減少している。

## 【自動車運送事業】

### (2) 予算執行状況

#### ア 収益的収入及び支出

令和4年度の予算執行状況は第2表のとおりである。

第2表 予算決算対照表（収益的収入及び支出）

(収入)

科 目	予 算 額		決 算 額		予算額に比べ 決算額の増△減	収入率
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
自動車運送事業収益	24,791,016	100	25,245,768	100	454,752	101.8
営業収益	18,514,037	74.7	19,013,218	75.3	499,181	102.7
営業外収益	6,276,979	25.3	6,232,550	24.7	△ 44,428	99.3

(支出)

科 目	予 算 額		決 算 額		不 用 額	執行率
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
自動車運送事業費	26,602,825	100	25,945,580	100	657,244	97.5
営業費用	26,307,157	98.9	25,649,913	98.9	657,244	97.5
営業外費用	295,667	1.1	295,667	1.1	0	100

収益的収入は、予算額 247億 9,101万円に対し決算額は 252億 4,576万円で、予算額に対し 101.8%の収入率である。

収益的支出は、予算額 266億 282万円に対し決算額は 259億 4,558万円で、予算額に対し 97.5%の執行率である。

#### 主な不用額

(営業費用)

減価償却費	2億 2,981万円	バス車両の納期変更等による
委託費	1億 3,857万円	契約金額が予定を下回ったこと等による
修繕費	8,427万円	バス車両の車検に係る修繕費が予定を下回ったこと等による

## イ 資本的収入及び支出

令和 4年度の予算執行状況は第 3表のとおりである。

第 3 表 予算決算対照表（資本的収入及び支出）

(収入)							
科 目	予 算 額		決 算 額		予算額に比べ 決算額の増△減	収入率	
	金 額	構成比	金 額	構成比		千円	%
	千円	%	千円	%	千円		%
資 本 的 収 入	2,512,908	100	2,065,605	100	△ 447,302		82.2
企 業 債	2,434,000	96.9	1,993,000	96.5	△ 441,000		81.9
出 資 金	39,000	1.6	39,000	1.9	0		100
その他資本収入	39,908	1.6	33,605	1.6	△ 6,302		84.2

(支出)							
科 目	予 算 額		決 算 額		翌年度 繰越額	不 用 額	執行率
	金 額	構成比	金 額	構成比			
	千円	%	千円	%	千円	千円	%
資 本 的 支 出	4,450,700	100	3,995,976	100	150,791	303,931	89.8
建設改良費	2,512,649	56.5	2,067,925	51.8	150,791	293,931	82.3
企業債償還金	1,512,551	34.0	1,512,550	37.9	-	0	100.0
借入金返還金	415,500	9.3	415,500	10.4	-	0	100
予 備 費	10,000	0.2	0	0	-	10,000	0

資本的収入は、予算額25億 1,290万円に対し決算額は20億 6,560万円で、予算額に対し82.2%の収入率である。これは、建設改良に充てる企業債の発行が予定を下回ったこと等によるものである。

資本的支出は、予算額44億 5,070万円に対し決算額は39億 9,597万円で、予算額に対し89.8%の執行率である。これは、翌年度繰越額 1億 5,079万円及び不用額 3億 393万円によるものである。不用額は主に建設改良費の残である。

## 【自動車運送事業】

### 主な建設改良事業

バス車両の更新（46両）	10億 2,879万円
バス運行総合情報システムの更新	3億 2,153万円
緑営業所及び浄心営業所の改修	2億 1,564万円

### 主な翌年度繰越額

本郷バスターミナル改修工事	1億 4,043万円
新型コロナウイルス感染症の影響等により、工程が遅れたことによる	

なお、資本的収入額20億 6,560万円と資本的支出額39億 9,597万円の差額19億 3,037万円については、消費税及び地方消費税資本的収支調整額等が充てられている。

## (3) 経営成績

## ア 損益の状況

令和4年度と令和3年度の比較損益計算書(要約)は第4表のとおりである。

第4表 比較損益計算書(要約)

区 分	令和4年度		令和3年度		比較増△減	前年度 対 比
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
営業収益	17,988,951	74.3	17,361,309	73.3	627,642	103.6
運輸収益	14,495,552	59.9	13,520,170	57.1	975,381	107.2
運輸雑収	3,493,399	14.4	3,841,138	16.2	△ 347,739	90.9
営業外収益	6,228,953	25.7	6,326,175	26.7	△ 97,221	98.5
一般会計負担金	98,757	0.4	104,807	0.4	△ 6,050	94.2
一般会計補助金	6,030,565	24.9	6,124,381	25.9	△ 93,816	98.5
国庫補助金	1,107	0.0	10,788	0.0	△ 9,681	10.3
県補助金	14,348	0.1	15,902	0.1	△ 1,554	90.2
長期前受金戻入	34,786	0.1	34,582	0.1	203	100.6
その他	49,389	0.2	35,713	0.2	13,676	138.3
経常収益	24,217,905	100	23,687,484	100	530,420	102.2
総 収 益	24,217,905	100	23,687,484	100	530,420	102.2

区 分	令和4年度		令和3年度		比較増△減	前年度 対 比
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
営業費用	24,724,563	98.5	24,282,115	96.8	442,448	101.8
人件費	13,419,771	53.5	13,201,226	52.6	218,545	101.7
自動車燃料費	1,925,950	7.7	1,640,149	6.5	285,800	117.4
修繕費	1,304,306	5.2	1,410,466	5.6	△ 106,160	92.5
減価償却費等	1,226,199	4.9	1,254,102	5.0	△ 27,903	97.8
その他	6,848,334	27.3	6,776,168	27.0	72,165	101.1
営業外費用	377,642	1.5	287,756	1.1	89,886	131.2
支払利息及び 企業債取扱諸費	4,951	0.0	5,101	0.0	△ 149	97.1
雑支出	372,690	1.5	282,654	1.1	90,036	131.9
経常費用	25,102,205	100	24,569,871	98.0	532,334	102.2
特別損失	0	0	505,593	2.0	△ 505,593	0
総 費 用	25,102,205	100	25,075,464	100	26,741	100.1

営業損益	△ 6,735,611		△ 6,920,805		185,194	97.3
経常損益	△ 884,300		△ 882,386		△ 1,913	100.2
当年度純損益	△ 884,300		△ 1,387,979		503,679	63.7
未処理欠損金	△ 35,173,288		△ 34,288,987		△ 884,300	102.6

(注) 営業費用の構成内容は81ページを参照。

総収益は242億1,790万円で、前年度に比し2.2%、5億3,042万円増加しており、総費用は251億220万円で、前年度に比し0.1%、2,674万円増加している。この結果、当年度の純損失は8億8,430万円となった。

## 【自動車運送事業】

### イ 収益及び費用の状況

#### ① 経常収益

経常収益は 242億 1,790万円で、前年度に比し 2.2%、 5億 3,042万円増加している。

#### 主な変動理由

(営業収益)

運輸収益	9億 7,538万円の増加	乗車人員が増加したこと等による
運輸雑収	3億 4,773万円の減少	バス事業運営費負担金が減少したこと等による

#### ② 経常費用

経常費用は 251億 220万円で、前年度に比し 2.2%、 5億 3,233万円増加している。

#### 主な変動理由

(営業費用)

自動車燃料費	2億 8,580万円の増加	軽油単価が上昇したこと等による
人件費	2億 1,854万円の増加	超過勤務手当の支給が増加したこと等による

## ウ 人件費の状況

人件費の状況は第 5表のとおりである。

第 5 表 人件費の状況

区 分	令和 4年度	令和 3年度	比較増△減
	千円	千円	千円
経常収益 A	24,217,905	23,687,484	530,420
人件費 B	13,419,771	13,201,226	218,545
定数内職員 (退職給付費を除く)	12,671,670	12,314,799	356,871
定数外職員	85,119	134,821	△ 49,701
退職給付費	662,982	751,606	△ 88,623
人件費比率 B/A	% 55.4	% 55.7	ポイント △ 0.3
職員数 (年度末)	人 1,500	人 1,504	人 △ 4

(注) 職員数は定数内職員の現員数を掲げた。

職員数は、職員が退職したこと等により、年度末比較で前年度から 4人減少している。

人件費は、超過勤務手当の支給が増加したこと等により、2億 1,854万円増加している。

経常収益に対する人件費比率は、経常収益の増加率が人件費の増加率を上回ったため、前年度に比し 0.3ポイント低下している。

## 【自動車運送事業】

### (4) 財政状態

#### ア 資産・負債・資本の状況

令和 4年度末と令和 3年度末の比較貸借対照表（要約）は第 6表のとおりである。

第 6 表 比較貸借対照表（要約）

科 目	令和 4年度末		令和 3年度末		比較増△減	前年度 対 比
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
固 定 資 産	12,863,343	73.7	12,217,015	66.7	646,327	105.3
建 物	3,880,747	22.2	3,830,211	20.9	50,535	101.3
車 両	2,859,632	16.4	2,611,396	14.2	248,235	109.5
機 械 装 置	604,428	3.5	369,381	2.0	235,047	163.6
流 動 資 産	4,597,277	26.3	6,110,735	33.3	△ 1,513,457	75.2
現 金 預 金	62,470	0.4	48,388	0.3	14,081	129.1
未 収 金	1,507,991	8.6	1,360,065	7.4	147,926	110.9
短 期 貸 付 金	3,000,000	17.2	4,600,000	25.1	△ 1,600,000	65.2
資 産 合 計	17,460,620	100	18,327,750	100	△ 867,130	95.3
固 定 負 債	12,246,394	70.1	11,635,217	63.5	611,176	105.3
企 業 債	4,120,089	23.6	3,642,128	19.9	477,961	113.1
引 当 金	8,099,538	46.4	7,964,168	43.5	135,369	101.7
流 動 負 債	5,564,298	31.9	6,188,690	33.8	△ 624,391	89.9
企 業 債	1,515,038	8.7	1,512,550	8.3	2,487	100.2
他 会 計 借 入 金	0	0	415,500	2.3	△ 415,500	0
未 払 金	2,413,670	13.8	2,657,302	14.5	△ 243,632	90.8
繰 延 収 益	442,620	2.5	451,235	2.5	△ 8,615	98.1
長 期 前 受 金	442,620	2.5	451,235	2.5	△ 8,615	98.1
負 債 合 計	18,253,313	104.5	18,275,143	99.7	△ 21,829	99.9
資 本 金	34,028,573	194.9	33,989,573	185.5	39,000	100.1
剰 余 金	△ 34,821,266	△ 199.4	△ 33,936,965	△ 185.2	△ 884,300	102.6
資 本 剰 余 金	352,022	2.0	352,022	1.9	0	100
欠 損 金	△ 35,173,288	△ 201.4	△ 34,288,987	△ 187.1	△ 884,300	102.6
資 本 合 計	△ 792,692	△ 4.5	52,607	0.3	△ 845,300	-
負 債・資 本 合 計	17,460,620	100	18,327,750	100	△ 867,130	95.3

(注) 短期貸付金とは、高速度鉄道事業会計への一時貸付金である。



① 資産

資産合計は 174億 6,062万円で、前年度末に比し 4.7%、8億 6,713万円減少している。

主な変動理由

(固定資産)

車両	2億 4,823万円の増加	バス車両を更新したこと等による
機械装置	2億 3,504万円の増加	バス運行総合情報システムを更新したこと等による

(流動資産)

短期貸付金	16億円の減少	借入需要が減少したことによる
-------	---------	----------------

② 負債

負債合計は 182億 5,331万円で、前年度末に比し 0.1%、2,182万円減少している。

このうち、企業債は固定負債と流動負債を合計すると56億 3,512万円であり、バス車両の更新等に充てる企業債の発行額が償還額を上回ったことにより前年度末に比し 9.3%、4億 8,044万円増加している。他会計借入金は返還により皆減している。

③ 資本

資本合計はマイナス 7億 9,269万円で、前年度末に比し 8億 4,530万円減少しており、債務超過に転じている。

資本金は 340億 2,857万円で、高速度鉄道事業会計からの出資金の受入れにより前年度末に比し 0.1%、3,900万円増加している。

欠損金は 351億 7,328万円で、当年度純損失の計上により前年度末に比し 2.6%、8億 8,430万円増加している。

## 【自動車運送事業】

### イ 財務比率

各年度末の流動比率及び自己資本構成比率の推移は第7表のとおりである。

第7表 流動比率及び自己資本構成比率の推移

区 分	令和 4年度末	令和 3年度末	対前年度 増△減 ポイント	令和 2年度末	令和元年度末	平成30年度末
流動比率 (流動資産/流動負債)	82.62	98.74	△ 16.12	121.62	146.25	124.85
自己資本構成比率 (自己資本/総資本)	△ 2.00	2.75	△ 4.75	8.48	12.00	3.21

(注) 自己資本=資本金+剰余金+繰延収益  
総資本=負債+資本

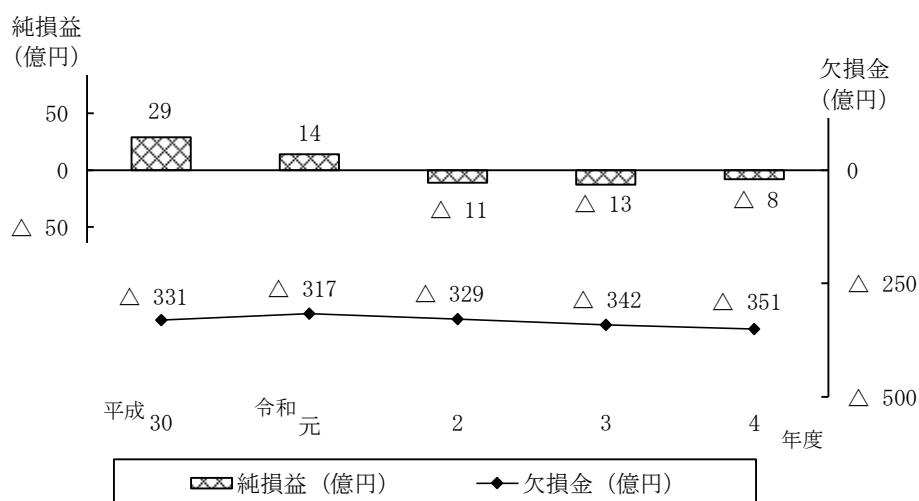
流動比率は、短期貸付金の減少等により、前年度末に比し16.12ポイント低下している。

自己資本構成比率は、前年度末までプラスが続いていたが、当年度純損失の計上等によりマイナスに転じた。

### ウ 欠損金の推移

欠損金の推移は第2図のとおりである。

第2図 欠損金の推移

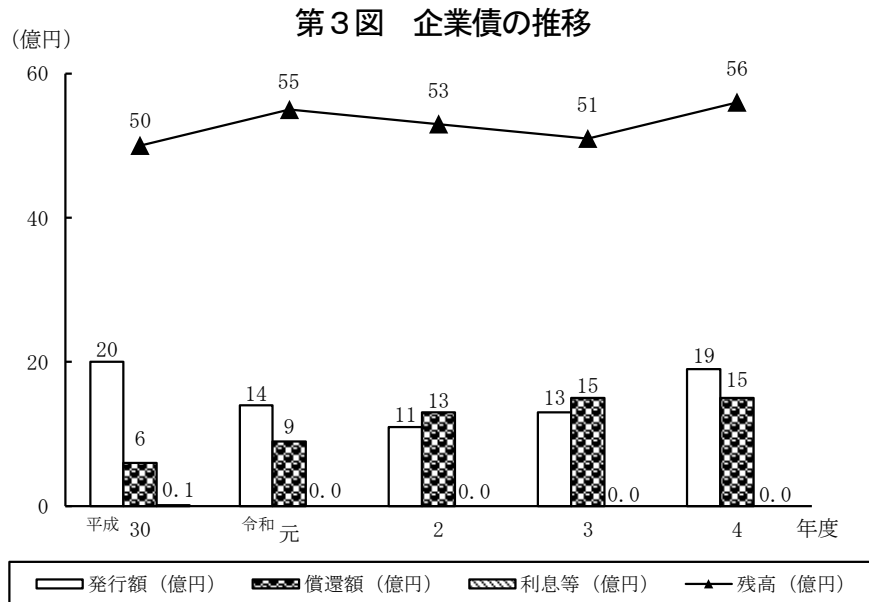


当年度は純損失を計上しているため、欠損金は増加している。

エ 長期借入金等の推移

① 企業債

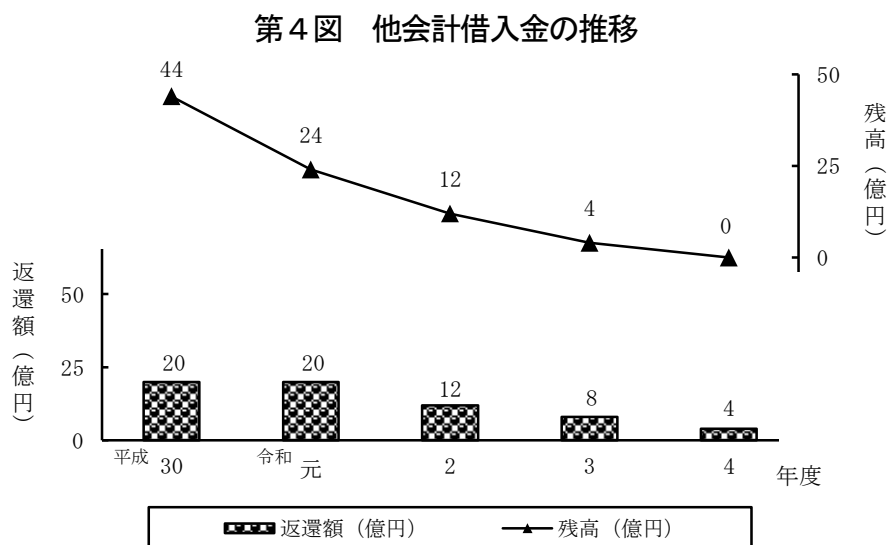
企業債の推移は第 3 図のとおりである。



当年度の企業債発行額は19億 9,300万円となっており、償還額は15億 1,255万円となっている。この結果、企業債残高は56億 3,512万円となっている。  
また、当年度の企業債利息は 493万円となっている。

② 他会計借入金

他会計借入金の推移は第 4図のとおりである。



当年度の他会計借入金返還額は 4億 1,550万円となっており、この結果、返済を完了した。

## 【自動車運送事業】

### (5) 資金状況

令和 4年度のキャッシュ・フロー計算書（要約）は第 8表のとおりである。

第8表 キャッシュ・フロー計算書（要約）

科 目	令和 4年度
	千円
業務活動によるキャッシュ・フロー	359,675
当年度純損失	△ 884,300
減価償却費等	1,226,199
引当金の増減額	159,718
長期前受金戻入	△ 34,786
その他	△ 107,154
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 431,277
固定資産の取得による支出	△ 2,060,919
短期貸付金の純増減額（△は増加）	1,600,000
その他	29,641
財務活動によるキャッシュ・フロー	85,683
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	1,993,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 1,512,550
建設改良費等の財源に充てるための他会計借入金の返済による支出	△ 415,500
他会計からの出資による収入	39,000
その他	△ 18,265
資金増加額（又は減少額）	14,081
資金期首残高	48,388
資金期末残高	62,470

（注）資金は貸借対照表における現金預金と同範囲である。

業務活動によるキャッシュ・フローでは、当年度純損失を計上しているが、実際に現金の収入や支出を伴わない減価償却費等や長期前受金戻入等を加味すると 3億 5,967万円の資金が増加した。

投資活動によるキャッシュ・フローでは、バス車両の更新等に起因する固定資産の取得による支出等により 4億 3,127万円の資金が減少した。

財務活動によるキャッシュ・フローでは、企業債による収入等により 8,568万円の資金が増加した。

この結果、前年度末に比し、1,408万円の資金が増加し、期末残高は 6,247万円となっている。

## (6) 一般会計からの繰入金について

繰出基準により一般会計から繰り入れた金額は第9表のとおりである。

第9表 繰出基準による一般会計からの繰入金

事 項	令和 4年度	令和 3年度	比較増△減	備 考
	千円	千円	千円	
一般会計補助金	559,121	551,683	7,438	
収益的収入	559,121	551,683	7,438	
営業外収益	559,121	551,683	7,438	
基礎年金拠出金公的負担経費補助金 *1	433,095	407,012	26,082	*1 基礎年金拠出額に係る公的負担相当額
共済追加費用補助金 *2	126,026	144,670	△ 18,643	*2 共済追加費用の負担額
一般会計負担金	98,757	104,807	△ 6,050	
収益的収入	98,757	104,807	△ 6,050	
営業外収益	98,757	104,807	△ 6,050	
児童手当負担金	98,757	104,807	△ 6,050	
合 計	657,879	656,490	1,388	

また、繰出基準以外で一般会計から繰り入れた金額は第10表のとおりである。

第10表 繰出基準以外の一般会計からの繰入金

事 項	令和 4年度	令和 3年度	比較増△減	備 考
	千円	千円	千円	
一般会計補助金	5,424,656	5,452,882	△ 28,226	
収益的収入	5,471,443	5,572,698	△ 101,255	
営業外収益	5,471,443	5,572,698	△ 101,255	*1 バス車両及び施設に対する補助金
資本費補助金(当年度分) *1	1,168,412	1,135,961	32,451	
地域巡回路線等維持補助金 *2	4,289,000	4,408,000	△ 119,000	*2 生活路線を始めとした不採算路線に対する補助金
抗ウイルス加工補助金	107	28,737	△ 28,629	
自動車燃料費等高騰対策補助金	13,923	0	13,923	
収益的支出	△ 46,787	△ 119,816	73,029	
営業外費用	△ 46,787	0	△ 46,787	
資本費補助金(過年度精算分) *3	△ 46,787	0	△ 46,787	*3 確定額に基づいて行う過年度分の精算
特別損失	0	△ 119,816	119,816	
資本費補助金(過年度精算分) *3	0	△ 119,816	119,816	
一般会計負担金	4,924,416	4,417,821	506,595	
収益的収入	4,966,703	4,803,598	163,105	
営業収益	4,966,703	4,803,598	163,105	
敬老バス等負担金(当年度分) *4	4,966,703	4,803,598	163,105	*4 敬老バス及び福祉バス利用の実績に応じた負担金
収益的支出	△ 42,287	△ 385,777	343,490	
営業外費用	△ 42,287	0	△ 42,287	
敬老バス等負担金(過年度精算分) *3	△ 42,287	0	△ 42,287	
特別損失	0	△ 385,777	385,777	
敬老バス等負担金(過年度精算分) *3	0	△ 385,777	385,777	
合 計	10,349,072	9,870,703	478,368	